

2023年度 第3四半期 (2023年4月～2023年12月) 決算説明資料

2024年2月8日

西日本鉄道株式会社
(コード番号 9031)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

目次

	ページ
1 .連結決算概要	1
連結経営成績、連結の範囲	
2 .セグメント別損益	2~9
セグメント別損益状況、数量情報	
3 .連結財政状態	10
4 .2023年度連結業績予想	11
セグメント別損益予想	

1. 2023年度第3四半期 連結決算

《全体損益等》

営業収益 営業利益	運輸業やレジャー・サービス業で新型コロナウイルス感染症の5類移行等によって社会・経済活動の正常化が進み 需要が回復したことなどにより増収となった一方、 物流業における国際物流事業で輸送需要の低迷による輸出入取扱高の減少等により、減収・減益
経常利益	国際物流事業での取扱高減少に伴う為替差益の減少などにより、減益
親会社株主に帰属する 四半期純利益	西新パレス等の売却による固定資産売却益の計上などにより、増益

(単位：億円)

	2023/3Q	2022/3Q	増減	率(%)	主な増減内容	2019/3Q	増減
営業収益	3,037	3,791	△ 754	△ 19.9	(△) 国際物流 △1,001 (輸出入取扱高減) (+) ホテル(実質) 79 (稼働率及び客室単価上昇)、賃貸 48 (グループ内賃貸収入増)、 バス(実質) 29 (需要回復)、鉄道 18 (需要回復)、ストア 13 (価格転嫁)	2,828	209
営業利益	183	197	△ 14	△ 7.0	(△) 国際物流 △114 (粗利減) (+) ホテル 35 (粗利増)、賃貸 19 (グループ内賃貸収入増)、 バス 15 (需要回復)、鉄道 12 (需要回復)、ストア 8 (粗利増)	142	41
経常利益	186	210	△ 23	△ 11.2	(△) 為替差益 △9 (当期 2、前期 11)、 持分法投資損益 △1 (当期 △7、前期 △6)	131	55
親会社株主に帰属する 四半期純利益	166	139	28	19.9	〈当期〉固定資産売却益 66 (西新パレス 65) 〈前期〉投資有価証券売却益 14 (ハウステンボス)	69	97
※親会社株主に帰属する四半期純利益は、2003年度に四半期決算を導入して以来、過去最高							
事業利益	180	194	△ 15	△ 7.5	(事業利益 = 営業利益 + 事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益等)	130	50
EBITDA	315	333	△ 17	△ 5.2	(EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	286	29
設備投資	425	161	263	163.1		186	239

《連結の範囲(期末)》 連結子会社 79社 (減少 3社)、持分法適用会社 40社 (増加 6社)、持分法非適用会社 3社 (増減なし)

2. セグメント別損益

対前年比較 (対2022③)

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2023/3Q	2022/3Q	増減	率(%)	2023/3Q	2022/3Q	増減	率(%)
運 輸	57,786	53,329	4,457	8.4	2,733	254	2,478	973.6
不 動 産	53,561	47,805	5,755 [1,729]	12.0	6,500	4,151	2,349 [1,172]	56.6
流 通	54,089	52,491	1,597	3.0	992	22	969	-
物 流	103,449	194,746	△ 91,296	△ 46.9	4,040	15,445	△ 11,404	△ 73.8
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス	32,889	22,825	10,063	44.1	3,766	△ 495	4,262 [5,438]	-
そ の 他	20,795	21,220	△ 424	△ 2.0	952	692	260	37.7
調 整 額	△ 18,822	△ 13,303	△ 5,518	-	△ 665	△ 370	△ 294	-
合 計	303,749	379,115	△ 75,366	△ 19.9	18,320	19,699	△ 1,378	△ 7.0

※ 2023年度より当社が西鉄ホテルズへ運営を委託する方式から、西鉄ホテルズが経営主体となり、当社からホテル事業資産を賃借する方式へ変更。

[] は経営体制変更による影響を除いた増減額

2. セグメント別損益

対コロナ前比較 (対2019③)

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2023/3Q	2019/3Q	増減	率(%)	2023/3Q	2019/3Q	増減	率(%)
運 輸	57,786	66,597	△ 8,811	△ 13.2	2,733	4,845	△ 2,112	△ 43.6
不 動 産	53,561	40,879	12,682 [8,655]	31.0	6,500	4,525	1,974 [798]	43.6
流 通	54,089	59,460	△ 5,371	△ 9.0	992	668	324	48.5
物 流	103,449	73,999	29,449	39.8	4,040	2,130	1,910	89.7
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス	32,889	34,230	△ 1,340	△ 3.9	3,766	1,856	1,909 [3,085]	102.8
そ の 他	20,795	29,137	△ 8,342	△ 28.6	952	364	588	161.4
調 整 額	△ 18,822	△ 21,461	2,639	-	△ 665	△ 146	△ 518	-
合 計	303,749	282,843	20,905	7.4	18,320	14,244	4,075	28.6

※ 2023年度より当社が西鉄ホテルズへ運営を委託する方式から、西鉄ホテルズが経営主体となり、当社からホテル事業資産を賃借する方式へ変更。

[] は経営体制変更による影響を除いた増減額

運輸業 需要の回復による旅客人員の増加や
鉄道事業における鉄道駅バリアフリー料金制度を適用したことなどにより、増収・増益

(単位：百万円)

	2023/3Q	2022/3Q	増減	率(%)	主な増減内容	2019/3Q	増減
営業収益	57,786	53,329	4,457	8.4		66,597	△8,811
鉄道	16,231	14,428	1,803	12.5	(+) 需要の回復による旅客人員の増加(定期外・定期)、 バリアフリー料金制度適用	17,389	△1,157
バス (※実質)	39,241 (36,724)	36,477 (33,856)	2,763 (2,868)	7.6 (8.5)	(+) 需要の回復による旅客人員の増加(定期外、貸切稼働増) (△) 福岡市地下鉄七隈線延伸	46,179 (43,106)	△6,937 (△6,381)
他	8,719	8,419	300	3.6	(+) 運輸関連、タクシー	10,665	△1,946
消去	△6,406	△5,996	△410	-		△7,636	1,229
営業利益	2,733	254	2,478	973.6		4,845	△2,112
鉄道	2,103	950	1,153	121.4	(+) 増収 (△) 修繕費増、人件費増、諸税増、一般費増	2,616	△512
バス	766	△719	1,486	-	(+) 増収 (△) 人件費増、一般費増、動力費増	2,299	△1,533
他	△77	△29	△48	-	(△) 運輸関連	△104	27
消去	△59	53	△113	-		33	△93
※実質・・・事業内部取引を除く							
EBITDA	7,363	4,973	2,389	48.0	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	11,943	△4,580
設備投資	5,159	1,578	3,581	226.9	当期：新造車両(9000形7両)、 天神大牟田線雑餉隈駅付近連続立体交差工事、 天神大牟田線春日原～下大利駅間連続立体交差工事	2,713	2,446

旅客人員 (単位：百万人)

	2023/3Q	2022/3Q	増減	率(%)	2019/3Q	率(%)
鉄道	77	72	5	7.1	85	△8.8
定期外	32	29	3	11.3	38	△13.8
定期	44	43	1	4.3	47	△4.8
バス	167	158	9	5.7	205	△18.3
定期外	99	89	9	10.3	113	△12.8
定期	68	68	△0	△0.3	91	△25.2

旅客人員推移 (百万人)



不動産業 賃貸事業でホテル事業の経営体制変更に伴うグループ内賃貸収入（セグメント間取引）の増加や
商業施設の賃貸収入が回復したことなど、
住宅事業で分譲マンションの販売単価が増加したことなどにより、増収・増益

(単位：百万円)

	2023/3Q	2022/3Q	増減	率(%)	主な増減内容	2019/3Q	増減
営業収益	53,561	47,805	5,755 [1,729]	12.0		40,879	12,682 [8,655]
賃貸	23,522	18,695	4,826 [800]	25.8	(+) ホテル事業経営体制変更(グループ内賃貸収入[セグメント間取引]増加)、 商業施設の賃貸収入回復	19,783	3,739 [△287]
住宅	23,440	23,018	421	1.8	(+) マンション(単価増)	14,418	9,021
その他不動産	9,711	9,376	335	3.6		9,218	492
消去	△3,113	△3,284	171	-		△2,541	△571
営業利益	6,500	4,151	2,349 [1,172]	56.6		4,525	1,974 [798]
賃貸	5,448	3,587	1,861 [685]	51.9	(+) 増収	5,236	211 [△964]
住宅	963	343	619	180.3	(+) マンション(粗利増)	△1,008	1,972
その他不動産	247	258	△10	△3.9		318	△70
消去	△159	△37	△121	-		△20	△139
EBITDA	11,746	8,465	3,281	38.8	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	8,561	3,185
設備投資	22,151	8,997	13,154	146.2	当期：福ビル街区建替プロジェクト(2024年12月竣工予定)	10,188	11,963

※ 2023年度より当社が西鉄ホテルズへ運営を委託する方式から、西鉄ホテルズが経営主体となり、当社からホテル事業資産を賃借する方式へ変更。

[] は経営体制変更による影響を除いた増減額

分譲販売区画数

(単位：戸、区画)

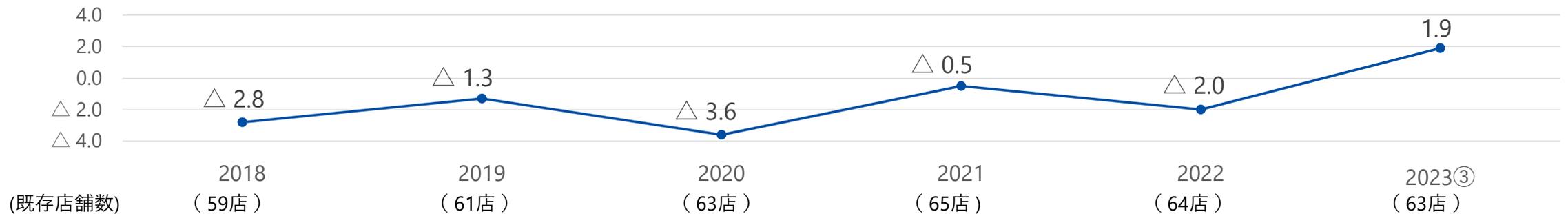
	2023/3Q	2022/3Q	増減	率(%)	摘要
合計	393	451	△58	△12.9	
マンション	301	343	△42	△12.2	〈当期〉マークネクスト鳥飼、照葉ザ・タワー 〈前期〉ブライتكロス博多、照葉ザ・タワー
戸建	86	97	△11	△11.3	
リノベーション	6	11	△5	△45.5	

流通業 ストア事業で前期に開業した新規店舗の寄与や
仕入価格高騰による販売価格への転嫁が進んだことなどにより、増収・増益

(単位：百万円)

	2023/3Q	2022/3Q	増減	率(%)	主な増減内容	2019/3Q	増減
営業収益	54,089	52,491	1,597	3.0		59,460	△5,371
ストア	50,010	48,687	1,322	2.7	(+) 既存店・前期開業店売上増 (前期開業：ららぽーと福岡店、レガネットマルシェ下大利駅店) (△) 改装店(久留米タミー店)	55,528	△5,518
生活雑貨販売	4,079	3,805	273	7.2	(+) 既存店・前期開業店(福津店)売上増	3,931	147
消去	△0	△1	1	-		-	△0
営業利益	992	22	969	-		668	324
ストア	880	122	757	616.9	(+) 粗利増	581	298
生活雑貨販売	175	64	110	172.1	(+) 粗利増	189	△13
消去	△63	△164	101	-		△102	39
EBITDA	1,632	671	960	143.0	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	1,542	89
設備投資	1,180	773	406	52.6		687	492

【参考】ストア 食品スーパー-既存店売上 対前期比推移(%) ※収益認識会計基準等適用前ベース



※一時閉鎖店除く

食品スーパー-既存店：当該年およびその前年のいずれにも営業していた店舗を対象。また、年度の途中で開店または閉店した店舗は除外。

物 流 業

国際物流事業で輸送需要の低迷による輸出入取扱高の減少等により、減収・減益

(単位：百万円)

	2023/3Q	2022/3Q	増 減	率(%)	主な増減内容	2019/3Q	増 減
営業収益	103,449	194,746	△91,296	△46.9		73,999	29,449
国際物流	108,079	208,212	△100,132	△48.1	(△) 輸出入取扱高減	74,589	33,489
国内物流	7,969	7,813	156	2.0		8,107	△138
消 去	△12,599	△21,279	8,679	-		△8,697	△3,901
営業利益	4,040	15,445	△11,404	△73.8		2,130	1,910
国際物流	4,125	15,494	△11,369	△73.4	(△) 粗利減	2,181	1,943
国内物流	123	91	31	35.0		136	△13
消 去	△207	△140	△67	-		△188	△19
EBITDA	5,598	17,022	△11,423	△67.1	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	3,137	2,461
設備投資	11,664	1,081	10,583	979.0	当期：関東ロジスティクスセンター	1,067	10,596

国際貨物取扱高

	単位	2023/3Q	2022/3Q	増 減	率(%)	地域ごとの増減率(%)
航空輸出	(千トン)	70	99	△28	△29.0	日本 △28.3、北中米 △36.0、欧州 △13.4、アジア △30.7
航空輸入	(千件)	238	284	△46	△16.2	日本 △13.7、北中米 △19.4、欧州 △16.4、アジア △16.7
海運輸出	(千TEU)	73	79	△5	△6.9	日本 0.7、北中米 2.7、欧州 23.4、アジア △11.8
海運輸入	(千TEU)	98	106	△8	△8.1	日本 △2.2、北中米 2.2、欧州 △29.4、アジア △7.3

レジャー・サービス業 ホテル事業で需要の回復による稼働率及び客室単価の上昇や

「西鉄ホテルクルーム博多祇園 櫛田神社前」の開業（2023年4月）などにより、増収・増益（黒字化）

(単位：百万円)

	2023/3Q	2022/3Q	増減	率(%)	主な増減内容	2019/3Q	増減
営業収益	32,889	22,825	10,063	44.1		34,230	△1,340
ホテル (実質)	19,145 (19,128)	19,057 (11,258)	87 (7,870)	0.5 (69.9)	(+) (実質) 需要の回復による稼働率及び客室単価の上昇	25,829 (16,102)	△6,683 (3,026)
旅行	2,299	1,839	460	25.0	(+) 国内外の旅行需要回復	2,742	△443
娯楽	3,665	3,188	476	15.0	(+) マリンワールド(水族館入園人員増)	3,794	△129
他	8,681	7,380	1,300	17.6	(+) 西鉄エアサービス(空港業務受託料収入増)	12,836	△4,154
消去	△902	△8,641	7,738	-		△10,972	10,070
営業利益	3,766	△495	4,262 [5,438]	-		1,856	1,909 [3,085]
ホテル	1,863	△1,627	3,491 [4,668]	-	(+) 粗利増	1,104	759 [1,935]
旅行	492	140	351	250.1	(+) 粗利増	43	448
娯楽	938	727	211	29.1	(+) 粗利増	437	501
他	532	222	310	139.6	(+) 粗利増	236	295
消去	△61	41	△103	-		34	△95
EBITDA	4,786	1,519	3,267	215.0	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	4,046	740
設備投資	2,344	2,650	△305	△11.5	当期：西鉄ホテルクルームバンコク シーロム(2024年夏開業予定)、 ソラリア西鉄ホテル台北西門(2023年8月開業)	3,614	△1,270

※ 2023年度より当社が西鉄ホテルズへ運営を委託する方式から、西鉄ホテルズが経営主体となり、当社からホテル事業資産を賃借する方式へ変更。

[] は経営体制変更による影響を除いた増減額

国内宿泊主体型ホテル客室単価、稼働率、Rev PAR

	2023/3Q		2022/3Q		増減		率(%)		2019/3Q	増減		率(%)
客室単価 (円)	11,423	(11,414)	8,333	(8,333)	3,090	(3,081)	37.1	(37.0)	9,894	1,529	15.5	
稼働率 (%)	78.6	(77.9)	69.0	(69.0)	9.6P	(8.9P)	-	-	78.3	0.3P	-	
Rev PAR (円)	8,980	(8,886)	5,753	(5,753)	3,227	(3,133)	56.1	(54.5)	7,751	1,229	15.9	

() は既存ホテル数値：当期および前期のいずれにも営業していたホテルを対象

そ の 他 建設関連事業で完成工事高が減少したことなどにより、減収
車両整備関連事業で受注が増加したことなどにより、増益

(単位：百万円)

	2023/3Q	2022/3Q	増減	率(%)	主な増減内容	2019/3Q	増減
営業収益	20,795	21,220	△424	△2.0		29,137	△8,342
車両整備関連	10,225	9,558	667	7.0	(+) 車両整備の受注増	15,009	△4,783
建設関連	6,226	7,065	△838	△11.9	(△) 完成工事高減	10,512	△4,286
金属リサイクル	3,633	4,068	△434	△10.7	(△) 販売数量減	3,243	389
ICカード	1,024	896	128	14.3	(+) 加盟店手数料増	928	96
消去	△315	△368	53	-		△556	240
営業利益	952	692	260	37.7		364	588
車両整備関連	619	345	274	79.3	(+) 粗利増	465	153
建設関連	5	114	△108	△95.4	(△) 粗利減	△41	46
金属リサイクル	496	380	116	30.7	(+) 粗利増(原価減)	△126	623
ICカード	△118	△161	43	-	(+) 粗利増	53	△171
消去	△50	13	△64	-		13	△63
EBITDA	1,638	1,516	121	8.0	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])	1,139	498
設備投資	422	1,298	△876	△67.5		728	△305

3. 連結財政状態

(単位：億円)

	2023年 12月末	2023年 3月末	増減	主な増減内容
資産合計	7,106	6,858	248	
流動資産	2,043	2,197	△155	売掛金 △122、現金及び預金 △96 (前期 728 → 当期 632)、販売土地及び建物 82
固定資産	5,063	4,661	403	有形固定資産 340 (福ビル街区建替、関東ロジスティクスセンター)、投資有価証券 84
負債合計	4,871	4,839	31	
流動負債	1,603	1,444	159	支払手形及び買掛金 73、未払消費税等 37、前受金 31、社債 30、借入金 △138
固定負債	3,268	3,395	△127	
純資産合計	2,235	2,019	217	利益剰余金 137 (四半期純利益 166、配当 △30)、為替換算調整勘定 58
自己資本比率	30.5%	28.4%	2.1P	
株主資本比率	27.2%	26.4%	0.8P	
1株当たり純資産	2,754.19円	2,471.07円	283.12円	
有利子負債	3,240	3,349	△108	借入金 △138、社債 30 (グリーンボンド発行 100 [2023.11.29]、償還 △70 [2023.6.2])

※ 有利子負債 = 借入金 + 社債

4. 2023年度通期業績予想

(単位：億円)

	2023年度 業績予想	2022年度 実績	増減 ('23-'22)	前回公表 (11/10)	差異 (今回-前回)
営業収益	4,183	4,946	△ 763	4,253	△ 70
運輸	776	721	55	769	7
不動産	854	781	[19] 73	858	△ 4
流通	709	690	19	709	-
物流	1,346	2,318	△ 972	1,425	△ 79
レジャー・サービス	438	327	111	426	12
その他	301	301	0	305	△ 4
調整額	△ 241	△ 192	△ 49	△ 239	△ 2
営業利益	230	262	△ 32	204	26
運輸	33	1	32	26	7
不動産	100	83	[1] 17	90	10
流通	9	1	8	6	3
物流	44	171	△ 127	53	△ 9
レジャー・サービス	40	1	[56] 39	29	11
その他	13	11	2	10	3
調整額	△ 9	△ 5	△ 4	△ 10	1
経常利益	208	279	△ 71	169	39
親会社株主に帰属する当期純利益	170	184	△ 14	138	32

※ 2023年度より当社が西鉄ホテルズへ運営を委託する方式から、西鉄ホテルズが経営主体となり、当社からホテル事業資産を賃借する方式へ変更。[] は経営体制変更による影響を除いた増減

※一部連結子会社の組織再編を実施したことにより、前年実績のセグメント情報を変更しています。

【前回公表(11/10)との差異】

営業収益：物流業・・・国際物流事業での輸出入取扱高の減少

営業利益：運輸業、レジャー・サービス業・・・需要の増加、不動産業・・・住宅事業での粗利率の高い物件の販売の増加

経常利益：持分法による投資損益の改善